

## 第3年次編入者

### 4 修了要件

- ・3年次前期中に、QEとして研究計画書の作成及び発表をする必要があります。
- ・修了要件は、以下の要件を満たす必要があります。
  - コース共通科目 8 単位以上（社会実践コース履修者にあたってはコース共通科目に加え武者修行・PBR12 単位）の修得。
  - サステナビリティ総合知コース、ウェルビーイング総合知コース又はフロンティア開発総合知コースから 1 コース 8 単位以上の修得。
  - 必要な研究指導を受けたうえで、学館での博士論文の審査及び試験に合格すること。
  - TOEFL-iBT80 点以上又は IELTS オーバーオール・バンドスコア 6.0 以上の語学力を有すること。

### ◆修了に必要な単位（学際研究コース）

科目区分	履修区分	単位数	備考
コース共通科目	必修	8	
サステナビリティ総合知コース ウェルビーイング総合知コース フロンティア開発総合知コース	選択必修	8	3つのコースから1コースを選択し8単位以上選択必修（注）
合計		16	

### ◆修了に必要な単位（社会実践コース）

科目区分	履修区分	単位数	備考
コース共通科目	必修	8	
武者修行・PBR		12	
サステナビリティ総合知コース ウェルビーイング総合知コース フロンティア開発総合知コース	選択必修	8	3つのコースから1コースを選択し8単位以上選択必修（注）
合計		28	

（注）「総合生存学館生に対する総長名の修了証発行要件」

各コースの必修科目 2 単位、a・b 群から 2 科目 4 単位以上に加え、選択した系の他研究科開講科目 2 科目以上を修得すること。

### 令和7年度からの新カリキュラム適用者の博士学位請求論文提出要件について

#### 「学際研究コース」

2年次までに形成した専門軸を更に深化等させ、またはその専門軸と異なる学術分野の専門知識等を修得しつつ、総合生存学に資する学修・研究の成果を博士論文にまとめる。

（提出要件）

在学中に、査読論文 2 本以上を有すること。

ただし、博士学位論文提出時点においては、査読論文 2 本以上うち 1 本は投稿中のものを含めてよいものとする（投稿中であった論文が掲載等された場合には、速やかに教務掛に届け出るものとする）。

#### 「社会実践コース」

2年次までに形成した専門軸を更に深化等させ、武者修行・PBR における取組みとあわせて、総合生存学に資する学修・研究の成果を博士論文にまとめる。

(提出要件)

在学中に、査読論文 1 本以上を有することに加えて、武者修行・PBR ワーキングペーパーを博士学位論文に盛り込むこと。

## 5 科目配当表

### 5.1 コース共通科目

科目名	開講期		単位	配当年次	備考
	前期	後期			
総合生存学研究Ⅰ	○		4	3・4	
総合生存学研究Ⅱ	○		4	5	

#### ① 総合生存学研究Ⅰについて

- 1) 主指導教員を中心に、副指導教員と学生との三者で密に連携をとり、研究の進捗状況、カリキュラムの履修状況を確認すること。(3、4年次)
- 2) 原則として、複合型研究会へ半期 6 回以上出席し(総合生存学研究会への 3 回以上の出席を含む)、そのうち 3 回以上の発表を行うこと。(3、4年次)
- 3) 原則として、熟議へ同一年度に 7 回以上出席し、毎回レポートを提出すること。
- 4) 原則として、思修館コンファレンス及び 1、2 年生の研究成果発表会に参加すること。(3、4年次)
- 5) 年度末に研究成果の目録(査読論文や学会発表等)およびそれらの論文等のコピーを提出すること。(4年次)

#### ② 総合生存学研究Ⅱについて

- 1) 主指導教員を中心に、副指導教員と学生との三者で密に連携をとり、研究の進捗状況、カリキュラムの履修状況を確認すること。
- 2) 原則として、複合型研究会へ半期 6 回以上出席し(総合生存学研究会への 3 回以上の出席を含む)、そのうち 3 回以上の発表を行うこと。
- 3) 原則として、思修館コンファレンス及び 1、2 年生の研究成果発表会に参加すること。
- 4) 大学院共通科目「研究倫理・研究公正」または「Research Ethics and Integrity」のうち、自身の研究内容に応じた分野(理工系、人社系または生命系)を 5 年次前期までに履修し合格すること。ただし、国際高等教育院による大学院共通科目「研究倫理・研究公正」及び「Research Ethics and Integrity」は修了単位には含めない。
- 5) 博士学位請求論文を提出する半年程度前に、三者面談等の形式で論文構成の発表をおこなうこと。同時に、博士学位請求論文の予備論文を提出すること。予備論文では、テーマと構成を明示したうえで、論文の内容を概略的に論述するものとする。

### 5.2 武者修行・PBR

科目名	開講期		単位	配当年次	備考
	前期	後期			
武者修行・PBR	○		12	3・4・5	

- 1) 武者修行の中間時点には、中間報告書(英文/A4 用紙 5 枚以内)を提出し武者修行先のスーパーバイザーと面談することと併せて主指導教員、副指導教員と検討を重ねること。
- 2) 武者修行・PBR 実施後、ワーキングペーパーを作成して提出するとともに(和文または英文/A4 用紙 20 枚以内)、ワーキングペーパー成果発表・審査会において発表を行い、審査を受けること。

### 5.3 サステナビリティ総合知コース

人文・社会科学系は a 群から 2 科目 4 単位以上、A 群から 1 科目 2 単位以上計 3 科目 6 単位以上履修

すること。工学・自然科学系はb群から2科目4単位以上、B群から1科目2単位以上計3科目6単位以上履修すること。文系学生は人文・社会科学系、理系学生は工学・自然科学系を履修すること。講義コードの下3桁が「000」になっているものを登録すること。ただし、毎回対面での参加が困難な、職業を有するなどの特別な事情がある場合は下3桁が「M00」となっているものを登録すること。

科目名	担当教員	開講期		単位	配当年次	系	群	備考
		前期	後期					
総合生存学 (サステナビリティ)	齋藤 他	○		2	1・2			必修
持続可能な発展とエネルギー転換	ヤルナゾフ		○	2	1・2	人・社 工・自	A/a B	
地球生存リスク特論	山敷		○	2	1・2	人・社	A/a	
文系のための基礎化学	齋藤	○		2	1・2	人・社	A/a	
知恵すること一情報の視点から生命と社会の本質を考える	趙		○	2	1・2	人・社	A	
環境防災生存学特論	山敷・矢守	○		2	1・2	人・社	A	
科学技術と社会に関わるクリティカルシンキング	伊勢田		○	2	1・2	人・社	A	◎
持続性移行	森	○		1	1・2	人・社	A	◎
国際環境政治学	関山		○	2	1・2	工・自	B/b	
エナジー・ファイナンス論	金村	○		2	1・2	工・自	B/b	
グリーンケミストリー(環境に優しい化学)入門	齋藤		○	2	1・2	工・自	B/b	
SDGs 下で求められる経営戦略(ケーススタディ)	長山	○		2	1・2	工・自	B	
質的調査方法論	FEUER		○	2	1・2	工・自	B	◎
レジリエントな社会づくりのイノベーション: 展望・自由提言	今中		○	2	1・2	工・自	B	◎

人・社：人文・社会科学系 工・自：工学・自然科学系 ◎：大学院横断教育科目

#### 5.4 ウェルビーイング総合知コース

人文・社会科学系はa群から2科目4単位以上、A群から1科目2単位以上計3科目6単位以上履修すること。工学・自然科学系はb群から2科目4単位以上、B群から1科目2単位以上計3科目6単位以上履修すること。文系学生は人文・社会科学系、理系学生は工学・自然科学系を履修すること。講義コードの下3桁が「000」になっているものを登録すること。ただし、毎回対面での参加が困難な、職業を有するなどの特別な事情がある場合は下3桁が「M00」となっているものを登録すること。

科目名	担当教員	開講期		単位	配当年次	系	群	備考
		前期	後期					
総合生存学 (ウェルビーイング)	齋藤 他	○		2	1・2			必修
感染症と人類	水本	○		2	1・2	人・社 工・自	A/a B	
知恵すること一情報の視点から生命と社会の本質を考	趙		○	2	1・2	人・社 工・自	A/a B	

える								
地球生存リスク特論	山敷		○	2	1・2	人・社 工・自	A/a B	
アジア文明を横断した仏教史	デロッシュ		○	2	1・2	工・自 人・社	B/b A	
人新世の哲学	篠原	○		2	1・2	工・自 人・社	B/b A	
マインドフルネス：東洋と西洋の間	デロッシュ	○		2	1・2	工・自 人・社	B/b A	
人間生態学	坂本		○	2	1・2	人・社	A	◎
質的調査方法論	FEUER		○	2	1・2	人・社	A	◎
科学技術と社会に関わるクリティカルシンキング	伊勢田		○	2	1・2	人・社	A	◎
社会疫学	近藤	○		2	1・2	工・自	B	◎
ヘルスサイエンス研究の進め方	中山 他	○		1	1・2	工・自	B	◎
健康情報学 I	中山 他		○	2	1・2	工・自	B	◎

人・社：人文・社会科学系 工・自：工学・自然科学系 ◎：大学院横断教育科目

### 5.5 フロンティア開発総合知コース

国際開発系は a 群から 2 科目 4 単位以上、A 群から 1 科目 2 単位以上計 3 科目 6 単位以上履修すること。宇宙・地球系は b 群から 2 科目 4 単位以上、B 群から 1 科目 2 単位以上計 3 科目 6 単位以上履修すること。講義コードの下 3 桁が「000」になっているものを登録すること。ただし、毎回対面での参加が困難な、職業を有するなどの特別な事情がある場合は下 3 桁が「M00」となっているものを登録すること。

科目名	担当教員	開講期		単位	配当年次	系	群	備考
		前期	後期					
総合生存学 (フロンティア開発)	齋藤 他	○		2	1・2			必修
開発経済学 (政策と制度)	ヤルナゾフ		○	2	1・2	国際 宇・地	A/a B	
開発政治学	関山	○		2	1・2	国際 宇・地	A/a B	
国際開発政策論	佐藤		○	2	1・2	国際 宇・地	A/a B	
水惑星地球	山敷	○		2	1・2	宇・地 国際	B/b A	
宇宙居住学	山敷		○	2	1・2	宇・地 国際	B/b A	
地球生存リスク特論	山敷		○	2	1・2	宇・地 国際	B/b A	
持続性移行	森	○		1	1・2	国際	A	◎
東南アジア地域論	設楽 他		○	2	1・2	国際	A	◎
デジタルガバメント論	岩下	○		2	1・2	国際	A	◎
有人宇宙学	山敷		○	2	1・2	宇・地	B	

宇宙学	浅井		○	2	1・2	宇・地	B	◎
地球益経済論	森	○		1	1・2	宇・地	B	◎

国際：国際開発系 宇・地：宇宙・地球系 ◎：大学院横断教育科目

### 5.6 総合生存学館が開講する科目

科目名	担当教員	開講期		単位	配当年次	備考
		前期	後期			
ブロックチェーン経済入門	池田		○	2	1・2	
データサイエンス1	池田	○		2	1・2	
データサイエンス2	池田		○	2	1・2	
国際経済学(新興国への応用)	ヤルナゾフ	○		2	1・2	
ヨーロッパと東アジアにおける経済統合	ヤルナゾフ	○		2	1・2	令和7年度不開講
有人宇宙医学	山敷・寺田		○	2	1・2	
ビジネスアナリティクス	山敷	○		2	1・2	
ビジネスアナリティクス応用	山敷		○	2	1・2	
環境変化に対応する経営戦略(ケーススタディ)	長山		○	2	1・2	
オペレーションズリサーチ概論	趙	○		2	1・2	令和7年度不開講
情報教育基礎	吉川	○		2	1・2	
情報教育応用	吉川		○	2	1・2	
リスクマネジメント論	金村		○	2	1・2	
感染症リスク解析	水本		○	2	1・2	
人新世の人文学	篠原		○	2	1・2	
人文科学的空間論Ⅰ	篠原	○		2	1・2	
人文科学的空間論Ⅱ	篠原		○	2	1・2	
先端エネルギー特論	大垣・紀井		○	2	1・2	
科学技術イノベーション政策論	桑島	○		2	1・2	